

学校だより

平成29年5月31日



# 深まる絆 広がる夢

横浜市立左近山小学校  
Sakonyama

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sakonyama/>

6月号

電話：351-7856 FAX：351-7398

y3sakony@edu.city.yokohama.jp

夢中がいっぱい左近山の子～仲間とともに まちとともに 未来とともに～

学校長 地口 朝美

「白1277点、赤1297点」

歓声と拍手で、会場が湧き上がりました。第5回左近山小運動会は、勝敗の行方が、閉会式の得点発表まで、分からない展開でした。午前の部が終わった時点で、白802点、赤857点で、赤がリードしていました。午後、白組の猛追で、赤組に10点差まで迫っていきました。結果は赤組の勝利となりました。みんなの日焼けした真っ赤な顔、そして、熱い名場面を残し、運動会の幕が閉じました。

運動会の数日前、出勤のとき学校近くの住宅街を歩いていると、プランターに植えられた赤色の日々草と白色の日々草が目に入ってきました。5月の早朝というのに日差しは強くまさに夏。日々草は、太陽光を浴び生き活きとして、むしろ清々しく感じました。そのとき、かすかに子どものような声が聞こえてきました。何だろうと気にしながら学校に近づくと、少しずつ声は大きくなってきました。「ええ！ここまで聞こえてくるんだ。」校舎を越え、さらには、団地を飛び越え、応援練習の声が私の耳に飛び込んできたのでした。

早朝や休み時間など、限られた時間を有効に活用し、練習に打ち込んできた応援団員。運動会が近づくにつれて、ボルテージも上がってきました。団長は、体を反り、全身を人型スピーカーにして、体全身を振動させ声を張り上げていました。その姿に各団員は一生懸命応えようと、「フレーフレー」のコールにも力が入り、団の結束力を強くしていました。そうした姿を見て、全校児童が運動会に向けての志気を高めていきました。毎年、応援合戦では、1年生が応援団員と同じ振付で応援する姿を見ます。応援練習をしている内に、いつの間にか応援団の振りを身に付けているのです。応援団員の一人になりきっています。そのほほえましい光景が、今年も全校応援合戦を盛り上げていました。

今年は、運動会テーマ「全力いっぱい！応援いっぱい！運動会！！」でした。加えて、左近山小統合5周年記念として「5年間お世話になった保護者・地域の皆様へ、最高の姿を表現し感謝の気持ちを伝えよう」という思いも入っていました。

ゴールを目指して全力で駆け抜けた徒競走。スタートラインに立った時は緊張し、ゴールが遠くに感じた人もいたでしょう。競走に順位はつきませんが、「全力いっぱい！」で走った頑張りはみんな1等賞です。

学年演技の練習日には運動会当日よりも暑い日がありました。汗と砂やほこりだらけになるのも忘れ、集中して演技を創り上げていきました。中高学年の児童は下学年のあこがれや目標になる演技を披露していました。

今年からは、低学年と高学年が一緒になり紅白リレーを実施しました。その紅白リレーが勝敗を左右するという事で選手も応援する人たちも緊張しました。それでも、さすが代表選手たちです。低学年の選手たちも走る姿がとても美しく、バトンパスも見事でした。バトンパスがピタッときまった瞬間を見たときは、ゾクッとしました。みんな、この一瞬のために何回も練習を重ねてきました。選手たちは、その感触をきっと忘れないでしょう。そして、努力を重ねてきたからこそその自信を実感したことでしょう。

暑さの中、「全力いっぱい 応援いっぱい」で取り組むことの大切さを経験した児童たち。初夏に咲いた「赤白の左近山草」そのものでした。